Installation Manual





© METTLER TOLEDO 2024

このマニュアルのいずれの部分も、複写や記録を含む、電子的、機械的ないかなる形または手段においても、メトラー・トレドの書面による許可なしに複製または送信することはできません。

米国政府の制限付き権利条項:この文書は制限付き権利条項に従って提供されるもの です。

Copyright 2024 METTLER TOLEDO. この文書にはメトラー・トレドの専有情報が含まれま す。メトラー・トレドの書面による同意なしに、全部または一部を複製することはできま せん。

著作権

METTLER TOLEDO[®]はMettler-Toledo, LLCの登録商標です。他のすべてのブランド名または製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。

メトラー・トレドは、製品を予告なく改善または変更する権利を留保します。

本製品のソフトウェアは、メトラー・トレドのソフトウェア用のエンドユーザーライセンス契約(EULA)に基づきライセンス許諾されており、www.mt.com/EULAから提供されています。本製品を使用する場合は、EULAの条件に同意する必要があります。

目次

1	準備	•	3	
	1.1.	システム要件の確認	3	
	1.2.	インストール	3	
	1.3.	ネットワーク通信の設定	4	
	1.4.	サードパーティ製コンポーネント	4	
	1.5.	インストールパッケージ	5	
2	2 DATA+のインストール			
	2.1.	インストールプロセス-前提条件となるコンポーネントのインストーラ	6	
	2.2.	インストールプロセス – DATA+インストーラ	9	
	2.3.	プログラムへのアクセス	12	
	2.4.	Data+の修正、変更、削除	. 13	
	2.4.	1. 現在のData+のインストールの変更	14	
	2.4.2	2. 現在のData+のインストールの修正	. 15	
	2.4.3	3. コンピュータからのData+の削除	. 16	
	2.4.4	4. メンテナンスまたは削除手順の完了	. 16	
3	DAT	A+/DATA+ LITEバージョンのアップグレード	17	
	3.1.	既存のData+バージョンのアップグレード	. 17	
4	DAT	A+ライセンスのアクティベーション	19	
	4.1.	アクティベーションの要件	19	
	4.2.	アクティベーションの手順	. 20	
5	トラ	ブルシューティング	23	
	5.1.	SQLのインストール失敗	. 23	
	5.2.	Data+インストールの失敗	. 23	
	5.3.	何も表示されないData+のユーザーインターフェイス	. 24	
	5.4.	Data+起動時の回転するアイコン	. 24	
	5.5.	機器の検出の問題	. 25	
	5.6.	インストール後のData+サービス使用不可	. 25	
	5.7.	ファイルの上書きエラー	. 26	
	5.8.	インストール後のWindowsライセンスエラー	27	
	5.9.	Data+旧バージョンのインストール	. 27	
	5.10.	ICS68_External dBの品目呼び出し失敗	. 28	

1 準備

1.1. システム要件の確認

正しくインストールするためには、次の表に詳しく説明する要件をハードウェアが満たしている ことを確認します。インストールプログラムは、必要な.NETのバージョンとSQLサーバーがイン ストールされていることを確認し、欠けているあらゆるコンポーネントをインストールします。

	Data+/Data+ Lite
OS	Windows 10 (Pro、Enterprise)、11 (Pro、Enterprise)
RAM	最小要件:4GB、8GBを推奨
CPU	最小要件:4コア、8コアを推奨
ハードディスク	最小要件: 2GBの空き
ディスプレイ	推奨最小要件: 1280 x 720
SQL Express Server	SQL Server Express 2014以降
	(SQL Server Express 2022がインストールパッケージに 含まれる)
NET	インストールパッケージに含まれる
MS Excel	オプション、.csvファイルの編集用
Ethernet	推奨最小要件: 100MB Ethernet(有線)または 802.11n WiFi
シリアルポート	最大5x RS232(ローカルPC)

1.2. インストール

このたび、Data+/Data+ Liteソフトウェアの両方が、1つのインストールパッケージに含まれる ようになりました。適切なバージョンは、インストールウィザードで選択できます。

開始するには、アカウントADMINを使用してローカルPCにログインします。または、各インストールファイルの実行時に[Run as Administrator (管理者として実行)]オプションを選択します。

注記

インストールとデータベースへの初回接続は、必ずローカル管理者の権限で行う必要があります。

- 1. ダウンロードした設定ファイルに移動します。
- 2. フルバージョンを新たにインストールする場合は、DataPlusPre-RequisiteInstaller.exeと DataPlusSetup.exeを使用します。第2章を参照してください。
- 3. いずれかのバージョンをアップグレードする場合は、第3章を参照してください。
- 4. フルバージョンのライセンスをアクティベートする場合は、第4章を参照してください。

注記

新しいバージョンのDBを使用して旧バージョンのData+をインストールしないでください(V1.3のDBを使用してV1.2をインストールするなど)。古いDBをSQLサーバーから削除した後に旧バージョンのData+を インストールし、新しい空のDBを作成してください。

1.3. ネットワーク通信の設定

インストール時に、以下の通信ポートについてPCファイアウォールの受信と送信の例外が追加 されます。これらのポートは、Data+ PCとクライアント指示計間の通信のためにお客様のネット ワークインフラストラクチャでも許可しなければなりません。

- アプリケーションサーバーポート: 56678
- ホストデータベースの品目テーブルのポート: 4302
- デフォルトの指示計接続ポート: 4305、1701、1702、21

インストール時に、Data+にはインストール場所として以下のディレクトリへの書き込み権限が与えられます。

- C:\Program Files\Microsoft SQL Server
- C:\Users\Public\Mettler Toledo
- C:\Program Files (x86)\Mettler Toledo
- ドライバとドライバパッケージ
- ライセンス
- ロギング

1.4. サードパーティ製コンポーネント

Data+では以下のサードパーティ製コンポーネントを使用します。

1. .NET Frameworkは、主にMicrosoft Windowsで実行されるMicrosoftが開発したソフト ウェアフレームワークです。必要なバージョンは、前提条件となるコンポーネントのイン ストールに含まれています。

4

- 2. MS SQLサーバーはMicrosoftが開発したデータベースマネジメントシステムです。
 - a. 他に対応するインスタンスがない場合は、MSSQL 2022 Expressが前提条件となる コンポーネントのインストールに含まれます。SQL 2022はx64マシンのみをサポー トし、x86マシンには適用できません。
 - b. Network Serviceアカウントの資格情報を使用してインストールされます。x64バージョンは、64ビットWindowsオペレーティングシステムに展開されます。または、既存のStandardまたはEnterpriseエディションのSQLサーバーをData+データベースのホストとして使用できます。
 - c. Data+のデータベース照合はLatin1_General_CI_ASです。この設定はインストールプロ グラムに含まれていません。
- 3. インストール用の文書にアクセスしData+レポートを表示するには、PDF Readerが必要です。

1.5. インストールパッケージ

- 1. Data+の前提条件チェック/インストールファイルとサードパーティ製コンポーネント
- 2. アップグレードを含むData+/Data+ Liteインストールファイル
- 3. インストールマニュアル(7つの言語に対応)
- 4. ユーザーマニュアル(8つの言語に対応)

2 Data+のインストール

注記

このプロセスは、必ずローカル管理者権限を持つユーザーが実行する必要があります。

新しいバージョンが既にインストールされているPCには、以前のバージョンのData+をインストールしない でください。インストールすると、ダウングレードインストールによってシステムが破壊され、どのバージョ ンのData+も実行できなくなります。

2.1.

インストールプロセス – 前提条件となるコンポー ネントのインストーラ

- 1. DataPlusPrerequisiteInstaller.exeを実行して開始します。
- 2. DataPlusのインストールによって機器に変更が加えられることを承認します。



図: [Change Authorization (変更承認)]ダイアログ

- 3. DataPlusPrerequisiteInstaller.exeは一時フォルダに抽出されます。
- 4. 前提条件となるコンポーネントのインストーラによって、Data+を正常に実行するために 必要なコンポーネントが不足しているかどうかがわかります。

	Components	Description	Status
	.NET 4.7.1	Microsoft .NET 4.7.1	Microsoft .Net v4.8 already installed
)	SQL Server	'DATAPLUS' instance of SQL Server 201	Not Installed

図: インストールするコンポーネントの選択

5. 左側のチェックボックスを使用して、ステータスが[Not Installed (未インストール)]のすべての コンポーネントを選択します。

	Components	Description	Status
	.NET 4.7.1	Microsoft .NET 4.7.1	Microsoft .Net v4.8 already installed
7	SQL Server	'DATAPLUS' instance of SQL Server 201	Not Installed

図: インストールされていないコンポーネントの選択

- 6. すべての必要なコンポーネントを選択したら、[Install (インストール)]をクリックします。
- 注記:必要なコンポーネントが既にインストールされている場合もあります(Collect+ SQLxなど)。すべてのコンポーネントのステータスがalready installed (既にインストール済み)の場合は、[Cancel (キャンセル)]をクリックして「インストールプロセス Data+インストーラ」に進みます。または、既存のインスタンスに加えてData+のデフォルトのSQLサーバーをインストールするには、そのチェックボックスをオンにして[Install (インストール)]をクリックします。

🔳 Da	Data+Prerequisite Installer						
In ord	er to successfully	run Data+ on your system you need to install t	the following software(s).				
	Components	Description	Status				
	.NET 4.7.1	Microsoft .NET 4.7.1	Microsoft .Net v4.8 already installed				
	SQL Server	'DATAPLUS' instance of SQL Server 201	'DATAPLUS' instance not installed. Another named instance exists locally.				
			Install	Ca	ncel		

図:以前のSQLインスタンスの表示

7. SQL Expressがインストールされ、進捗状況が表示されます。

🐮 SQL Server 2014 Setup		-		\times
Installation Progres				
Install Setup Files Installation Progress	Creating servicing cache folder.			
	Next >	Cancel	Help	,

図: インストールの進捗状況の表示

8. インストールが完了すると、PCを再起動することを示すメッセージが表示されます。



図: Data+ PCの再起動を示すメッセージ

9. コンピュータが再起動されると、更新されたステータスでコンポーネントリストが表示され ます。

n ord	er to successfully	run Data+ on your system you need to install	the following software(s).
	Components	Description	Status
	.NET 4.7.1	Microsoft .NET 4.7.1	Microsoft .Net v4.8 already installed
	SQL Server	'DATAPLUS' instance of SQL Server 201	'DATAPLUS' of SQL Server 2014 already installed

図: 更新されたコンポーネントリスト

10. [Close (閉じる)]をクリックしてData+のインストールに進みます。

2.2. インストールプロセス – Data+インストーラ

- Data+でコンポーネントを修正、追加、削除、変更するには、第2.4項を参照してください。
- 1. DataPlusSetup.exeファイルをダブルクリックします。セットアップファイルが許可を求め、一時フォルダへの抽出を開始します。

User Account Control Do you want to allow this app to make	×
changes to your device?	
DataPlus Setup	
Verified publisher: Mettler-Toledo GmbH File origin: Network drive	
Show more details	
Yes No	

図: [Change Permission (変更許可)]ダイアログ

8% Extracting	\times

図:ファイル抽出の進捗状況の表示

2. インストールダイアログが表示されたら、[Next> (次へ>)]をクリックします。

Data+ Installer		\times
Welcome to Data+ Setup		
The installation wizard will guide you through next steps.		
Cancel	<u>N</u> ext	>

図: Data+インストールウィザードダイアログ

3. ライセンス条項に同意します。



- 図: Data+ EULA確認ダイアログ
- 4. インストールするアプリケーションを選択します。

Data+ Installer	-		\times
Choose application.			
Select the application type which you want to install.			
⊖ DataPlus			
 DataPlus-Lite 			
· · · · · ·			
Cancel < Back	ĸ	Next	>

図: Data+インストールウィザードダイアログ

 更新するSQLサーバーインスタンスをインスタンスのドロップダウンリストから選択します。 デフォルトのDATAPLUSインスタンス、別のローカルSQL(CollectPlusなど)、またはリモート SQLサーバーを選択できます。[Test connection (テスト接続)]をクリックし、SQLサーバー 通信を承認します。インスタンスの右側の © をクリックし、利用可能なサーバーのリス トを更新します。

Data+ Installer	- 🗆 🗙	Data+ Installer - X
SQL Database	Server Connection	SQL Database Server Connection
Please provide SQL ser	ver details letup	Please provide SQL server details
Instance name	.\DATAPLUS	Instance name .\COLLECTPLUS
Database name	DATAPLUSDB	Database name DATAPLUSDB
	Test connection	Test connection
	Cancel < Back Next >	Cancel < Back Next >
	図: Data+/Collect+デー	タベースの接続テスト

- 6. 接続テストの成功が報告されたら、[Next> (次へ>)]をクリックし、Data+のインストールを続けます。

Data+ Installer –		× 🔳 🛛)ata+ Installer		_		\times
SQL Database Server Connection		s	QL Database	Server Connection			
Please provide SQL server details SQL connection setup Instance name .\DATAPLUS Database name DATAPLUSDB Test con	nection	Ple	ase provide SQL ser SQL connection s Instance name Database name	ver details etup NCOLLECTPLUS DATAPLUSDB	Test connect	on	
Cancel < Back	Next >			Cancel <	Back	Next	>

図: Data+/Collect+データベースの接続の確認

7. インストールの設定を確認し、[Install (インストール)]をクリックします。

Data+ Installer - X	Data+ Installer - X
Confirm installation settings	Confirm installation settings
Installation Path C:\Program Files (x86)\METTLER TOLEDO\DataPlus\	Installation Path C:\Program Files (x86)\METTLER TOLEDO\DataPlus\
Install Data+ Database Server Operation - Use existing SQL Server '\DATAPLUS' - Create Database 'DATAPLUSDB'	Install Data+ Database Server Operation - Use existing SOL Server ', VCOLLECTPLUS' - Create Database 'DATAPLUSDB'
Cancel < Back Install	Cancel < Back Install

図: Data+/Collect+のインストール準備完了

 必要に応じて、インストールを完了するためにPCを再起動するようにセットアップアプリ ケーションからメッセージが表示されます。オプションで、左下のボックスをオンにしてイ ンストールログを表示します。直ちにData+の使用を開始するには、[Yes, restart PC... (は い、PCを再起動します...)]を選択し、[Finish (完了)]をクリックします。または、[No, restart PC later (いいえ、後でPCを再起動します)]を選択し[Finish (完了)]をクリックします。

Data+ Installer	_		\times
Data+ installed successfully			
The installation program successfully completed the require	d opera	tions.	
 Yes, restart PC after finishing this installer No, restart PC later 			
View installation log			
		Finis	h

図: インストールの成功の確認

2.3. プログラムへのアクセス

Data+のアイコンがデスクトップと[Start (スタート)]メニューに表示されます。



図: デスクトップのData+アイコン

2.4. Data+の修正、変更、削除

Data+のインストールをメンテナンスまたは削除するには、以下の手順を実行します。

1. DataPlusSetup.exeファイルをダブルクリックします。必ずローカルPC管理者権限で実行して ください。

User Account Control Do you want to allow this app to make changes to your device?	×	
DataPlus Setup Verified publisher: Mettler-Toledo GmbH		
File origin: Network drive	8% Extracting	\times
Show more details		
Yes No		

図: Data+セットアップファイルの実行

- 2. インストールダイアログが表示されたら、希望するオプションを選択します。
 - Modify (変更): SQLサーバーを変更し、別のデータベースを選択するか、新しいデー タベースを作成します。第2.4.1項に進みます。
 - Repair (修正): 破損している、または削除された可能性のあるファイルを再度インストー ルします。第2.4.2項に進みます。
 - Remove (削除): このPCからData+アプリケーションを削除します。第2.4.3項に進みます。

適切なオプションを選択し、[Next> (次へ>)]をクリックします。

Data+ Installer	—		×
Welcome to Data+ Maintenance Setup			
Please select an action			
Modify your current Data+ installation			
Repair your current Data+ installation			
Remove Data+ from your computer			
Cance	I	Next	>

図: Data+のメンテナンスオプション

2.4.1. 現在のData+のインストールの変更

 インスタンスのドロップダウンサーバーリストからSQL Serverを選択します。デフォルトのデータ ベース名を使用することを推奨しますが、別のデータベース名を入力することもできます。デ フォルトのDATAPLUSインスタンス、別のローカルSQL(CollectPlusなど)またはリモートSQLサー バーを選択します。[Test connection (テスト接続)]をクリックし、SQLサーバー通信を承認しま す。インスタンスの右側の © をクリックし、利用可能なサーバーのリストを更新します。

Data+ Installer - ×	Data+ Installer - ×
SQL Database Server Connection	SQL Database Server Connection
Please provide SQL server details SQL connection setup Instance name \DATAPLUS V (*) Database name DATAPLUSDB Test connection	Please provide SQL server details SQL connection setup Instance name .\COLLECTPLUS Database name DATAPLUSDB Test connection
Cancel < Back Next >	Cancel < Back Next >

図: Data+/Collect+データベースの接続テスト

2. 接続されたら、[Next> (次へ>)]をクリックし、Data+のインストールを続けます。

Data+ Installer - ×	Data+ Installer -
SQL Database Server Connection	SQL Database Server Connection
Please provide SQL server details	Please provide SQL server details
SQL connection setup	SQL connection setup
Instance name .\DATAPLUS 🗸 G	Instance name NCOLLECTPLUS 🕥 🕞
Database name DATAPLUSDB	Database name DATAPLUSDB
Test connection	Test connection
Cancel < Back Next >	Cancel < Back Next >

図: Data+/Collect+データベースの接続の確認

3. インストールの設定を確認し、[Install (インストール)]をクリックします。

■ Data+ Installer - □ ×	Data+ Installer - ×
Confirm installation settings	Confirm installation settings
Installation Path C:\Program Files (x86)\METTLER TOLEDO\DataPlus\	Installation Path C:\Program Files (x86)\METTLER TOLEDO\DataPlus\
Install Data+ Database Server Operation - Use existing SOL Server '\DATAPLUS' - Create Database 'DATAPLUSDB'	Install Data+ Database Server Operation - Use existing SQL Server '.\COLLECTPLUS' - Create Database 'DATAPLUSDB'
Cancel < Back Install	Cancel < Back Install

図: Data+/Collect+のインストール準備完了

2.4.2. 現在のData+のインストールの修正

[Repair (修正)]をクリックして修正手順を開始します。

Data+ Installe	er —		×
Confirm N	laintenance Settings		
Installed Path	C:\Program Files (x86)\METTLER TOLEDO\DataPlus\		
Repair Data+			
			_
	Cancel < Back	Repa	air

図: Data+の修正の確認ダイアログ

2.4.3. コンピュータからのData+の削除

1. [Remove (削除)]をクリックして続けます。

Data+ Installe	er —		\times
Confirm N	laintenance Settings		
Installed Path	C:\Program Files (x86)\METTLER TOLEDO\DataPlus\		
Remove Data+			
			_
	Cancel < Back	Remo	ove

図: Data+の削除 – 確認ダイアログ

2.4.4. メンテナンスまたは削除手順の完了

必要に応じて、インストールを完了するためにPCを再起動するようにセットアップアプリケーショ ンからメッセージが表示されます。オプションで、左下のボックスをオンにしてインストールログを 表示します。直ちにData+の使用を開始するには、[Yes, restart PC... (はい、PCを再起動します ...)]を選択し、[Finish (完了)]をクリックします。または、[No, restart PC later (いいえ、後でPCを 再起動します)]を選択し[Finish (完了)]をクリックします。



図: Data+のインストールの成功を示すダイアログ

2.4.5. SQL Serverの移行: 2014から2022へ

この章では、SQL Server 2014データベースをSQL Server 2022に移行するために必要な手順について 説明します。

注本書で使用するデフォルトの場所は、当社の設定に固有のものです。お客様のファイルパスが 異なる場合は、それに応じてクエリパスを変更してください。

DataPlusアプリケーションのアンインストール

- 1 SQL Server 2014データベースのバックアップ
 - ◆ SQL Server 2014インスタンスに接続されたSQL Server Management Studio (SSMS) を開きます。
 - ➡ オブジェクトエクスプローラで移行するデータベースを右クリックします。
 - ◆ [Task (タスク)] > [Back Up (バックアップ)]の順に移動します。
 - ▶ バックアップオプションを設定します。バックアップは保存先フォルダのファイルに保存されます。
 - ➡ [OK]をクリックしてバックアップを開始します。
- 2 バックアップファイルのSQL Server 2022へのコピー
 - ➡ バックアップファイル (.bak) をSQL Server 2022がインストールされているサーバーに転送します。
- 3 SQL Server 2022でのバックアップの復元
 - ◆ SQL Server 2022インスタンスに接続されたMicrosoft SQL Server Management Studio (SSMS) を 開きます。
 - ◆ オブジェクトエクスプローラで[Databases (データベース)]ノードを右クリックします。
 - ◆ [Restore Database (データベースの復元)]を選択します。
 - ◆ [Device (デバイス)]を選択し、転送したバックアップファイルを参照します。
 - ▶ 追加のオプションを設定し、[OK]をクリックしてデータベースを復元します。 注復元プロセスに失敗した場合は、次の手順に従って確実に復元してください。
- 4 データベースのシングルユーザーモードへの設定(データベースが新しいサーバーに既に存在 する場合)
 - SSMSで新しいクエリウィンドウを開き、次のコマンドを実行します。 ALTER DATABASE [DATAPLUSDB] SET SINGLE_USER WITH ROLLBACK IMMEDIATE;
- 5 RESTORE FILELISTONLYの実行
 - ▶ 次のコマンドを実行して論理名を取得します。
 RESTORE FILELISTONLY
 FROM DISK = 'C:\Program Files\Microsoft SQL
 Server\MSSQL16.DATAPLUSSQL2022\MSSQL\Backup\DATAPLUSDB.bak';
- 6 RESTORE DATABASEでの正しい論理名の使用
 - ▶ RESTORE FILELISTONLY出力の論理名が正しいと仮定すると、RESTORE DATABASEコマンドは次のようになります。
 RESTORE DATABASE [DATAPLUSDB]
 FROM DISK = 'C:\Program Files\Microsoft SQL
 Server\MSSQL16.DATAPLUSSQL2022\MSSQL\Backup\DATAPLUSDB.bak'
 WITH REPLACE,
 MOVE 'DATAPLUSDB' TO 'C:\Program Files\Microsoft SQL
 Server\MSSQL16.DATAPLUSSQL2022\MSSQL\DATA\DATAPLUSDB.mdf',
 MOVE 'DATAPLUSDB_log' TO 'C:\Program Files\Microsoft SQL
 Server\MSSQL16.DATAPLUSSQL2022\MSSQL\DATA\DATAPLUSDB.mdf',
 MOVE 'DATAPLUSDB_log' TO 'C:\Program Files\Microsoft SQL
 Server\MSSQL16.DATAPLUSSQL2022\MSSQL\DATA\DATAPLUSDB.mdf',

- 7 データベース互換性レベルの更新
 - → 現在の互換性レベルを確認します。
 SELECT name, compatibility_level
 FROM sys.databases
 WHERE name = 'DATAPLUSDB';
 - ◆ 互換性レベルが120 (SQL Server 2014)の場合は、160 (SQL Server 2022) に更新します。 ALTER DATABASE DATAPLUSDB

SET COMPATIBILITY_LEVEL = 160; -- 160 is the compatibility level for SQL Server 2022

- 8 統計の更新
 - ▶ 統計の更新は、特に復元後にクエリのパフォーマンスを最適化するのに役立ちます。
 USE DATAPLUSDB;
 G0

EXEC sp_updatestats;

- 9 インデックスの再構築
 - ◆ インデックスを再構築すると、パフォーマンスをさらに向上させることができます。 USE DATAPLUSDB;

GO

-- Script to rebuild all indexes in the database

DECLARE @TableName NVARCHAR(255);

DECLARE @SQL NVARCHAR(MAX);

DECLARE TableCursor CURSOR FOR

SELECT QUOTENAME(SCHEMA_NAME(schema_id)) + '.' + QUOTENAME(name)

FROM sys.tables;

OPEN TableCursor;

FETCH NEXT FROM TableCursor INTO @TableName;

WHILE @@FETCH_STATUS = 0

BEGIN

SET @SQL = 'ALTER INDEX ALL ON ' + @TableName + ' REBUILD;';

EXEC sp_executesql @SQL;

FETCH NEXT FROM TableCursor INTO @TableName;

END

CLOSE TableCursor;

DEALLOCATE TableCursor;

- 10 データベースのバックアップ
 - ◆ 信頼性の高い復元ポイントを確保するために、新しいバックアップを作成します。
 BACKUP DATABASE DATAPLUSDB
 TO DISK = 'C:\Program Files\Microsoft SQL
 Server\MSSQL16.DATAPLUSSQL2022\MSSQL\Backup\DATAPLUSDB_AfferRestore.bak'
 WITH INIT;
- 11 データベースをマルチユーザーモードに戻す
 - ◆ 次のコマンドを実行して、データベースをマルチユーザーモードに戻します。 ALTER DATABASE [DATAPLUSDB] SET MULTI_USER;
- 12 最終ステップ
 - ➡ DataPlusアプリケーションをインストールします。

➡ インスタンス名.\DATAPLUSSQL2022を変更します。この例では、参照画像を使用します。

🔳 Da	ata+ Installer		—	\times
SC	QL Database \$	Server Connection		
Plea	ase provide SQL serv	er details etup		
	Instance name	.\DATAPLUSSQL2022	✓ ⑤	
	Database name	DATAPLUSDB		
			Test connection	
		Cancel	< Back Next >	

➡ データを検証します。

3 Data+/Data+ Liteバージョン のアップグレード

注記 このプロセスは、必ずローカル管理者権限を持つユーザーが実行する必要があります。

setup.exeファイルを実行すると、インストーラが現在のインストール状況を検出し、適切なアップグレードをインストールします。

3.1. 既存のData+バージョンのアップグレード

- 1. ローカルadminユーザーとしてPCにログインするか、または「管理者として実行」し、インストールプログラムを実行します。
- 2. Data+インストーラから現在使用中のバージョンのアップグレードを求めるメッセージが表示 されます。[Upgrade> (アップグレード>)]をクリックして続けます。

Data+ Installer	-		×
Welcome to Data+ Setup			
The installation wizard will upgrade Data+ to the newer version.			
Cancel		Upgrad	le >

図: Data+セットアップウィザード

3. インストーラはアップグレードプロセスを続け、進捗バーが表示されます。

Data+ Installer	_		×
Upgrading Data+			
Validating install		_	
Cancel	< Back	Next	>

図: インストールの実行

- 4. 確認ダイアログが、インストールの完了を示します。[Finish (完了)]をクリックしてダイアロ グを閉じます。
- 5. PCの再起動を求められた場合は再起動します。

Data+ Installer		\times
Data+ installed successfully		
The installation program successfully completed the required op	erations.	
	Finis	h

図: インストールの成功を示すダイアログ

- Data+のすべてのプログラムのアップグレードをインストールする場合は、既存のSQLデータ ベースを使用します。Data+バージョンのアップグレードによって、必要に応じて既存のデー タベースが調整されます。すべてのテーブルデータと設定済みの機器は保持されます。
- Data+のエクスポート/設定ディレクトリは削除されず、バージョンのアップグレード後に使用 できます。

4 Data+ライセンスのアクティ ベーション

注記

Data+アプリケーションは45日間に限り完全に機能します。45日間の有効期限が切れる前に製品をアクティベーションしない でプログラムを実行すると、登録ポップアップウィンドウで停止します。テーブルデータまたは設定済みデバイスは削除また は変更されません。このデータは製品の登録後に利用可能になります。

4.1. アクティベーションの要件

Data+のフルインストールのライセンスをアクティベートするには、以下が必要です。

- ライセンスキー(購入した製品に付属)。
- ライセンス登録情報(LRI)(ソフトウェアにより表示される)。
- キーとLRIをアクティベーションサイトに入力すると、アクティベーションコードが生成されます。

インストール時にData+Liteを選択した場合でも、Data+のフルバージョンをアクティベートできます。

1. キー - をクリックし、Data+のアクティベーション手順に進みます。



図: Data+ LiteでのData+フルバージョンのアクティベーション

4.2. アクティベーションの手順

1. Data+を起動すると、45日間の無料体験版の残り日数がポップアップウィンドウに表示されます。図は、アクティベーションされていない製品のポップアップを示しています。アクティベーション後はこのポップアップは表示されません。



図:登録リマインダーダイアログ

2. 無料体験版の使用期間内であれば、[Proceed (続行)]をクリックしてアプリケーションを実行 し、すべての機能が有効な状態で操作できます。無料体験版の使用期間が終了した後は、 [Register (登録)]ボタンのみが表示されます。

Add license key	License Key
Simple SW products with one licer	ise key only
License key:	

3. メッセージが表示されたら、Data+のLRIを[Non-activated products (アクティベーションされ ていない製品)]タブの下部に入力し、[Activate (アクティベート)]をクリックします。

Activated products	Non-Activated products			
Generate LRI code	in your software and enter here.			
Product subname	License Key	Uploaded	Enter your LRI	
DataPlus	28294 2810 45222 42712 FMITY	1/10/0818		Activate

図:アクティベーションされていない製品のリスト

 ポップアップウィンドウで、[System Name (システム名)]、[Server Name (サーバー名)]、
 [Server location (サーバーの場所)]を入力し、このライセンス取得済みData+ PCに固有の IDを指定します。[OK]をクリックします。

System name *	
Server name	
Server location	
Save Cancel	

図: 固有のIDの入力

5. ライセンス取得済みData+ PCが[Activated products (アクティベーションされた製品)]タブの このユーザーアカウントのリストに表示されます。

The system informat Product Subname	ions can be changed by System name	/ pressing the icon () A Server name	Il license information can Server location	be viewed or edited v Hardware ID / LR
-1		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1
The activation key fi Please import the ac necessary, but it pro	e of the activation syste tivation key file in the L vides an overview, espe	em can be downloaded b icense manager of your p cially with several or large	y pressing the icon (🎒) product installation in ord er systems.	er to activate the soft
		1013		

図:アクティベーションされた製品のリスト

 図に示される画面に表示されるアクティベーションキーをコピーします。アクティベーションポータルで、ブラウザのポップアップウィンドウにアクティベーションコードが表示されます。この番号をData+の[generated activation key (生成されたアクティベーションキー)] フィールドにコピー/貼り付けするか入力し、[Register (登録)]をクリックします。

The license key has been successfully activated	×
Please enter Short Activation Code	
to your software	

図: ショートアクティベーションコードの通知

7. これで、Data+アプリケーションがこの特定ハードウェアプラットフォームで無制限に使用できる ようになります。

		The license key has been successfully activated
	Activation / Re	Please enter Short Activation Code
	Data+	to your software
Software License Activ 1. Please contact your Mil (Item No. 30534951) 2. Login your account on with this License Benistra	Action ETTLER TOLEDO representative to get https://activation.mt.com/ to enter y	t an Data+ License Key your License Key along
Enter the generated activ	vation key here :	Copy LRI
		Register Close

図: Data+へのアクティベーションコードの貼り付け

トラブルシューティング 5

5.1. SQLのインストール失敗



図: SQLインストール失敗コードの例

SQLのインストールに失敗した場合は、以下の手順に従います。

- 1. ローカルADMINグループのユーザーとしてPCにログインしたことを確認します。
- 2. 引き続き失敗する場合は以下を行います。

SQL 2014の場合: ログファイルC:\Program Files\Microsoft SQL Server\120\Setup Bootstrap\Log\Summary.txt をヘルプデスクのケースとしてINDサポートに送信します。

SQL2022の場合: ログファイル C:\Program Files\Microsoft SQL Server\160\Setup Bootstrap\Log\Summary.txt をヘルプデスクのケースとしてINDサポートに送信します。

5.2. Data+インストールの失敗

Data+のインストールに失敗する場合は、C:\Users\Public\Mettler Toledo\DataPlus\Logging のログファイルをヘルプデスクのケースとしてINDサポートに送信します。

何も表示されないData+のユーザーインター フェイス

Data+のサービスが停止すると、Data+のユーザーインターフェイスに何も表示されなくなります。



図:何も表示されないData+のユーザーインターフェイス

この問題を解決するには、次の手順に従います。

- 1. Data+のウィンドウを閉じます。
- 2. Data+のサービスを再起動します。
- 3. サービスが[Automatic (自動)]に設定されていることを確認します。



- 4. サービスの起動に繰り返し失敗する場合は、自動遅延開始を試みます。
- 5. Data+アプリケーションを開きます。
- 注記: Windowsのサービスは、フルバージョンでは「Data+」、無料バージョンでは「Data+Lite」という名称です。

5.4. Data+起動時の回転するアイコン

Data+アプリケーションを起動しようとしたときに回転するマウスアイコンが表示される場合は、 DataPlusConfiguration.xmlが壊れている可能性があります。これは、Data+が予期せず終了し た場合、または強制終了した場合に発生します。C:\Users\Public\Mettler Toledo\DataPlusLite\ConfigフォルダのDataPlusConfiguration.xmlを削除します。

5.5. 機器の検出の問題

シリアル自動デバイス検出に失敗する場合、またはタイムアウトしない場合は、USB-シリアル 仮想COMポートにドライバの問題が発生した可能性があります。

- 1. Windowsデバイスマネージャで、仮想COMデバイスとドライバをアンインストールします。
- 2. ドライバを再度インストールし、USBシリアルアダプタを差し込みます。

5.6. インストール後のData+サービス使用不可

- 1. コントロールパネルで、SQLのアンインストールを開始し、SQLセットアップ画面でDATAPLUS dBインスタンスを検索します。
- 2. SQLサーバー2014のアンインストールを実行し、DATAPLUSインスタンスを削除します。
- 3. PCを再起動します。
- 4. ログインしたPCユーザーがローカルadminグループのユーザーであることを確認し、Data+の セットアップを再度実行します。
- 注記: DATAPLUSインスタンスがSQLインストーラにありながらWindowsのサービスとしてではない場合(タスクマネージャ->サービス->SQLサーバー(DATAPLUS)サービス)、インストールを中断したかユーザーにローカルPC管理者権限がないことが理由で、インストールに失敗したことを示します。

5QL Server 2014 Setup	The second se	-		and an other states	00.
Installation Type Perform a new installation or a	add features to an exist	ng instance of SQL Serve	2014.		
Global Rules Product Updates Install Setup Files Install Fables Installetion Type Feature Selection Feature Selection Server Configuration Database Engine Configuration Feature Configuration Rules	 Berform a new in Select this option components such add features to a DATAPLUS Select this option want to add the within an instance 	stallation of SQL Server 2 n if you want to install a n h as SQL Server Manager an existing instance of SQ n if you want to add Star Analysis Services feature a must be the same editio	014 www.instance.of SQL 5 ment Studio or Integri 1. Server 2014 	ierver or want to thon Services. tance of SQL Sen contains the Dat	install shared ver. For example, you abase Engine, Festures
Installation Progress Complete	Instance Name COLLECTPLUS DATAPLUS	Instance ID MSSQL12 COLLEC MSSQL12 DATAPLUS	Féatures SQLEngine,SQLEn SQLEngine	Edition Express Express	Version 12.0.000.8 12.3.6024.0 0
			e jack	it >] Car	icel Help

図: Data+インスタンスの表示

インストールに成功すると、Windowsタスクマネージャにサービスが表示されます。

View Help				- 0	×
cal) O Services (Local)					
SQL Server (DATAPLUS)	Name	Description	Status	Startup Type	Log '
Stop the service Pause the service <u>Restart</u> the service	Shell Hardware Detection Smart Card Smart Card Device Enumera Smart Card Removal Policy SNMP Trap	Provides no Manages ac Creates soft Allows the s Receives tra	Running	Automatic Manual (Trig Manual (Trig Manual Manual	Loci Loci Loci Loci Loci
Description: Provides storage, processing and controlled access of data, and rapid transaction processing.	 Software Protection Spatial Data Service Spot Verifier 	Enables the This service Verifies pote		Automatic (Manual Manual (Trig	Neti Loci Loci
	SQL Server (DATAPLUS)	Provides sto	Running	Automatic	Net
	SQL Server Agent (DATAPLU	Executes jo		Disabled	Net
	SQL Server Browser	Provides SQ	Running	Automatic	Loci
	SQL Server VSS Writer	Provides th	Running	Automatic	Loci
	SSDP Discovery	Discovers n	Running	Manual	Loci
	State Repository Service	Provides re	Running	Manual	Loci
	Still Image Acquisition Events	Launches a		Manual	Loci
	Storage Service	Provides en	Running	Manual (Trig	Loci
	Storage Tiers Management	Optimizes t		Manual	Loci
	Sync Host_902a1	This service	Running	Automatic (Loci
	SysMain	Maintains a	Running	Automatic	Loci
	System Event Notification S	Monitors sy	Running	Automatic	Loci
	System Events Broker	Coordinates	Running	Automatic (T	Loci V

図: Windowsタスクマネージャに表示されるData+サービス

Data+のインストールプロセスが始まったら、インストール中にexeを2回以上クリックしないで ください。2回以上クリックすると、インストール時に重大なエラーが発生したことを示すエラー メッセージが表示されます。

5.7. ファイルの上書きエラー

インストール時に重大なエラーが発生した場合、図のようなメッセージが表示されます。

- 1. 操作が完了するのを待ちます。
- 2. 可能であればインストールをキャンセルします。
- 3. PCを再起動します。
- 4. インストールを再開します。

Data	PlusSetup: error X
8	Could not overwrite file "C:\Users\wei-56\AppData\Local\Temp\DataPlusSetup\DataPlus\DataPlus\DataPlus Installation.exe". 拒绝访问。
	ОК

図: Data+のセットアップエラー

5.8. インストール後のWindowsライセンスエラー

インストールの完了後、以下のエラーが表示されることがあります。



図: ライセンスエラーダイアログ

これは、Windows 10の標準の認証/セキュリティチェックです。最も可能性の高い原因は、PCが 現在ある場所のタイムゾーンと設定されているタイムゾーンに違いがあることです。このエラー は、12時間または24時間後に自動で解消されるか、またはPCを通常の場所に戻すと自動で解 消されます。

5.9. Data+旧バージョンのインストール

注記

現行バージョンに加えて旧バージョンのData+をインストールした場合、旧バージョンは、既存の データベースではなく新しいデータベーステーブルセットを参照しなければなりません。

ユーザーがData+のインストールのダウングレードを希望する場合(バージョン1.3をアンイン ストールし、代わりに1.2をインストールするなど)、ダウングレードインストールで既存のData+ データベースを使用しようとすると、操作に失敗してシステムが破損し、SQLxサービスが停止し て、どのバージョンのData+も実行されなくなります。

これまでにインストールされたすべてのData+とSQLxデータベースをPCから削除するのは、時間のかかる複雑な操作になる上、ローカルPC管理者アカウントの資格が必要になります。

一般的には、以下の手順を行います。

- 1. Data+ SQLxインスタンスとデータベースを削除するためのツールとして、MS SQL Server Management Studioをインストールします。
 - 代わりに使用できるツールには、オープンソースのdbforgesql56expがあります。
- 2. PCを再起動します。
- 3. 以下の手順で、インストールされていたData+の残ったコンポーネントを削除します。
 - a. レジストリエディタのRegeditを使用して、アプリケーションに関連付けられた複数の キーバリューを削除し、Windows Add/Remove AppsリストからData+を削除します。
 - b. PCのC:ドライブの該当するフォルダからファイルを削除します。
 - c. サービスリファレンスを削除します。

メトラー・トレドの技術サポートでは、この複雑な作業を支援しています。

5.10. ICS68_ External dBの品目呼び出し失敗

必要なポートに関するPCのファイアウォールの例外とウィルス対策機能が、Data+アプリケーションがリモート指示計の通信リクエストを受信するのをブロックしていないことを確認します。

一般的には、以下の手順を行います。

- 1. スタートボタンで「Firewall」と入力し、[Windows Defender Firewall with Advanced Security (セキュリティが強化されたWindows Defenderファイアウォール)]を選択します。
- 2. 任意のアドレス、リモートポート、任意のインターフェイス、任意のユーザー、すべてのLAN プロファイルからのTCP接続を確認するために「受信の規則」を選択します。
 - a. DataplusServicve_IN: ローカルポート56678
 - b. HostMode_IN: ローカルポート4302
- 3. 任意のアドレス、ローカルポート、任意のインターフェイス、任意のユーザー、すべてのLAN プロファイルへのTCP接続を確認するために「送信の規則」を選択します。
 - a. DataplusServicve_OUT: リモートポート56678
 - b. HostMode_OUT: リモートポート4302

Wiresharkなどのオープンソースツールが、指示計との間の実際のネットワークパケットの捕捉 に便利です。

- 指示計IPアドレスに基づくフィルタの結果: ip.addr == xxx.xxx.xxx.xxx
- すべての通信セッションは、ソケットを開いて開始する必要があります(Syn、Syn Ackシーケンス)。
- アプリケーションは、開いたソケットを通じて送信されたPSH Ackパケットによりコマンドに応答します。
- 通信セッションは、FIN ACKでソケットを閉じて終了する必要があります。

お使いの製品の将来に備えて:この製品 の品質・測定の正確さ・性能を長期にわたっ て維持・確保するために、きめ細かなメト ラー・トレドの保守・点検サービスをご利用く ださい。

サービス規約について詳しくは、お問い合わせください。

www.mt.com/service

www.mt.com

詳しくはウェブサイトへ

Mettler-Toledo GmbH Im Langacher 44 8606 Greifensee, Switzerland www.mt.com/contact

製品仕様は予告なく変更することがあります。 © 11/2024 METTLER TOLEDO. All rights reserved.